



特別養護老人ホーム もみじ館 定期発行広報誌

人をつなぐ広報誌 “もみじん”

momiji人

2021, August Vol.07

新型コロナウイルスのワクチン接種がだいぶ進んできましたが、検温や消毒に気をつけながらの生活が続いています。長引く緊張感の中で、それでも日常は平和に穏やかに流れています。その様子をぜひ皆様に見ていただきたく、職員がアイデアを絞ってまとめました。この広報誌を通じて「もみじ館は大丈夫」そう感じていただけたら幸いです。



共 力

「より良く生きる」を支えるために



「優しさ」を伝える

介護課主任 益子龍一

「優しさ」ってみんな心の中にあるものだと思うんですね。

でもそれが、ちゃんと伝わっているかどうかは、今まであまり考えて来ませんでした。利用者さんとのかわり方を見直し始めたのは昨年の春頃から。利用者さんの健康を内側から整えるケアをしていくにはどうしたらいいか?という話し合いの中で「伝える」の重要性が出てきました。

ユマニチュードという聞き慣れない言葉があるのですが、これはフランス語で「人間らしさを取り戻す」という意味があります。もみじ館では、「あなたのことを大切に思っている」という優しい気持ちを伝えるため、このユマニチュードの考え方を取り入れています。



塚本 貴子 サービス提供責任者

所属 訪問課
介護福祉士

訪問業務は基本1人で自宅に伺います。ですが誰が伺っても差がないようにメンバー4人が同じ質のサービスができることが大切です。訪問課では、大きいタイトルではなく訪問先で起こる具体的なテーマで、実践的に生かせる研修を行い、利用者様やご家族の方に喜んでいただけるようなケアの向上に努めています。



三上 航 3Fフロアリーダー

所属 介護課
介護福祉士

「チームケア」の実現は、利用者様が安心してお過ごしいただける環境やケアの提供につながると思います。今年の4月からフロアリーダーになったので、職員一人ひとりの身体状態・メンタルを理解しながら、一緒に利用者様の生活のサポートをしていきます。



宮下 美穂 リーダー

所属 厨房課
管理栄養士

先輩がいる中でリーダーになってもうすぐ1年を迎えようとしています。先輩方に頼りながらも頑張っています。常にチームワークが必要な厨房業務において「報連相」が重要だと思います。みんなが協力してできる、何か小さいことでも相談しやすい関係づくりを大切にしています。



須藤 明子 看護課長

所属 看護課
介護支援専門員
准看護師

仕事をする上で、相手の話を傾聴すること、自分自身がいつも健康でいること。また多職種での情報共有の時間を基にしています。



稲田 秀一 室長

所属 ちいき相談室
介護福祉士

4月から相談室室長となりました。多くの方にもみじ館を地域資源として利用してもらうこと、利用者様それぞれに見合った生活様式に合わせて調整しています。また、安心して利用いただくために、施設全体を見渡して整えていくことを目指しています。



小林 綾美 機能訓練指導員

所属 通所課
理学療法士

各利用者様と関わる機能訓練の20分、この時間を大切にしています。3年目を迎えて信頼関係が築けたのか会話の中で自分の怪我のことや悩みなどを話してくれることが増えました。身体の調子が上がった報告を受けると何より嬉しいですし、自分のやりがいに繋がります。



田綿 清 主任介護支援専門員

所属 居宅介護支援課
介護支援専門員、介護福祉士

皆様に支えられながら早いもので居宅のケアマネジャーとしての勤務が9年目となりました。いつも一番に考えているのは利用者一人ひとりの生活です。そのためには介護保険の範囲に限らず、あらゆる福祉制度を勉強してその方に即した活用の提案ができるよう心掛けています。これからもケアマネジャーとしての役割として、ひとり一人の安心と笑顔を繋ぐと共に地域にも貢献できるケアマネジャーを目指していきます。



佐藤 照美 主任介護支援専門員

所属 水戸市内原高齢者支援センター
介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員
精神保健福祉士

高齢者支援センターは地域で暮らす高齢者により元気で過ごしてもらえよう様々なサロンや講座を企画し、また困ったときには必要な機関へつなぐことをしています。人と笑顔につながる地域づくり、ネットワークづくりを心がけています。

「より良く生きる」を支えるために、わたしたちができることって何だろうか？
ケアの原点に立ち返って、もみじ館職員で考えたことを、この広報誌にまとめました。「優しさを伝える」ことによって、笑顔と笑顔が繋がっていく、より良く生きるベースを築いていく。そのために職員間の情報共有のあり方もこの1年で様変わりしています。故くても新しいもみじ館が、より温かみを増してみなさまにサービスが提供できますように。

より良く生きる を支えるために 専門の垣根を越えて 共力するチーム！





何の歌を
歌いましょう？

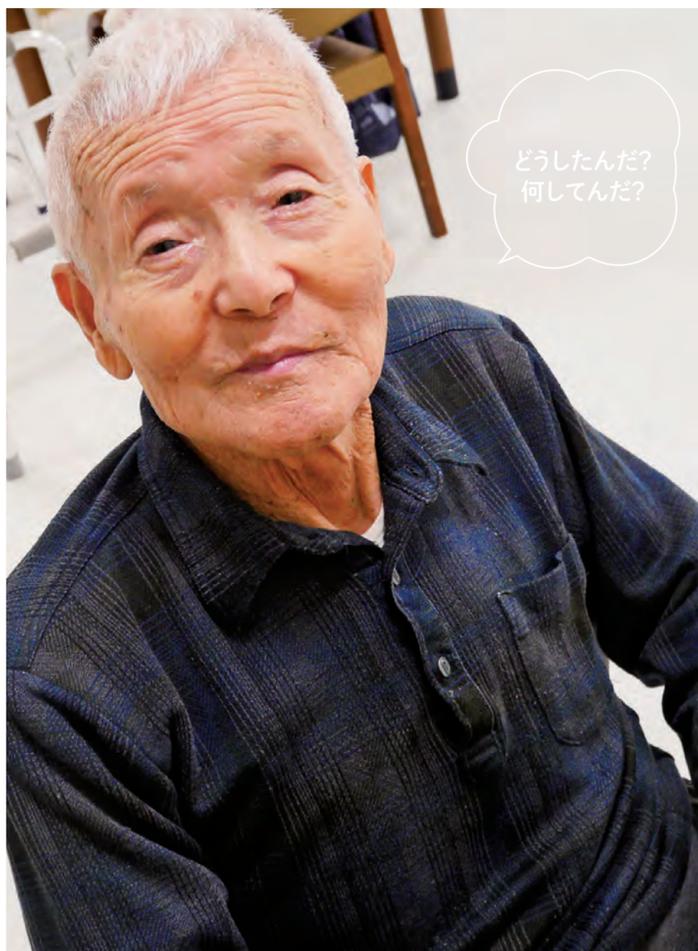


今度うち来てお茶でも飲めー

変わらない日常

もみじ館職員が捉えた

コロナ禍で中々伝えることが出来ない利用者様の日常を
ご家族の皆様に向けた職員一同の思いから、もみじ館全フロアで
身近な職員による撮影を行いました。



どうしたんだ？
何してんだ？



なんかやることある？



今日も奥さんと
電話しますか？

※撮影にあたっては、通所では職員も利用者様もマスク着用、入所は職員がマスク着用を徹底し、細心の注意を払って行いました。



小吹 大輝 おぶき だいき
所属：ユニット2階
趣味：猫と触れ合う、体を動かす、ドライブ
目標：通りの業務をこなせるようになります。

長谷川 優希 はせがわ ゆうき
所属：複合2階（シヨートステイ）
趣味：筋トレ
目標：利用者様・職員の方に信頼される介護福祉士になりたいです。

田口 佳奈 たぐち かな
所属：通所課（デイサービス）
趣味：絵を描くこと、写真を撮ること
目標：利用者様が安心して過ごせるような介助・環境作りを目指します！

小松 彩夏 こまつ あやか
所属：複合4階
趣味：運動すること
目標：利用者様の声を聴き、できる限り、応えられるようコミュニケーションをとります。

成島 優花 なるしま ゆうか
所属：厨房課
趣味：音楽を聴くこと、御朱印
目標：しっかり仕事を覚え、一人前になれるよう頑張ります。



健康経営

毎日少しずつ続けることの大事さ
「M-Gym もっと使ってください！」

総務マネジャー 鈴木直昭

「健康」は1日にしてならず、継続がカギとなります。より良く生きるを支えるために、まず職員自身が健康であることもとても大事だと思っています。それには職員自身が自分をメンテナンスできる状態を目指したいですね。今回もみじ館に新しくできたM-Gym(エムジム)というコーナーは、利用者さんはもちろんのこと、職員も勤務中に制服を着たままで使うことができるジムです。使い方をわかりやすく、誰でもいつでも隙間時間に運動できるよう、環境を整えていますので、ぜひみなさん使って健康で美しくなってください。

Q もみじ館利用者アンケート

対象：ご利用者様またはご家族様

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>Q1 職員のあいさつや言葉遣い等は礼儀正しいですか？
良い：93% やや良い：3% 普通：4%</p> <p>Q2 話し方や返事は聞き取りやすいですか？
良い：92% やや良い：4% 普通：4%</p> | <p>Q3 ご本人・家族への気配りや話しかけが十分に行われていますか？
良い：88% やや良い：6% 普通：6%</p> <p>Q4 職員の身だしなみは清潔感がありますか？
良い：85% やや良い：10% 普通：5%</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

もみじ館のサービスについてのアンケート(ご家族様からのご意見)

コロナ禍での感染症対策をしながら看護・介護、大変なご苦労があると思います。このような状況の中、いつも笑顔で接して下さいありがとうございます。職員の皆様どうぞお体に気をつけてがんばってください。(同様のコメント複数)

施設での新型コロナウイルス感染対策

- ・全職員に対する定期的なPCR検査、抗原検査の実施(茨城県からの協力依頼要請にて)。
- ・毎日の検温と自動検温器の導入。マスク着用、定期的な換気、消毒。
- ・感染流行地域への外出はしない、不要不急の外出自粛。早めの病院受診。



水曜日限定のカフェがオープン!

技能実習生としてもみじ館で働くヌさんは、タイから日本にやってきました。そしてこの春から、利用者様に向けたコップンカーコーヒーというポップアップカフェのスタッフとしても活躍しています。利用者様とお話したり、お茶やお菓子を配るのがとても楽しいとニコニコ笑顔。長年もみじ館で働く上野さんとの息もぴったりです。ぜひもみじ館にお立ち寄りの際は、のぞいてみてください。
※コップンカーとは、タイ語で「ありがとう」の意味です。



コップンカーコーヒー
毎週水曜日の10時～12時
もみじ館1階「みんなの部屋」



もみじで
働く👏
こんな人

もみじ館では約100名の職員が
様々な専門性をもって活躍しています。
そんなプロフェッショナルな人たちに
スポットライトをあてるコーナーです。



機能訓練指導員 瀧本 健一

もみじ館ショートステイでは、立つ・座る・歩くといった基本動作から食事・排泄・入浴といった応用的動作能力まで幅広い分野のリハビリを行っております。また整骨院で勤務していた経験を活かした痛みに対するアプローチも可能です。ご利用者様は人生の大先輩でもありますので、お話を聞いているだけでもとても勉強になります。そのような大先輩方へリハビリさせて頂けることを日々感謝しながら業務にあたっております。

ご利用者様の中には年齢や体力の低下を理由に気持ちが消極的になってしまい元気に生活することを諦めようとする方がいらっしゃいますが、筋肉は100歳になっても鍛えれば向上されることが明らかになっており、諦めずリハビリを続けて体力を向上させることは可能です。

私はご利用者様に「できる、できないではなく、やるか、やらないか」という言葉をよくお話をさせていただきます。例えば歩くのを諦め車椅子生活されていた方を説得したら私の手を握り立ち上がって歩き出すなど“できない”と諦めていた方が“やってみよう”とご自分の限界を超えて一歩踏み出してくれた時は、私がこの仕事をしていて最も嬉しいと感じる瞬間です。

リハビリを通じて人と人とを笑顔で繋げることが私のミッションです。小さな成功を積み重ねることで体力が向上し「もみじ館のリハビリで良くなった」と多くのご利用者様に満足して頂けるようこれからもベストを尽くしていきます。

主な仕事内容

■リハビリテーション

マッサージ、ストレッチ、関節可動域訓練、筋力訓練、バランス訓練、立位訓練、歩行訓練、日常生活動作訓練など

■その他

福祉用具の選定、介助方法の提案、姿勢指導、住宅環境整備など



特別養護老人ホーム もみじ館

〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町2222-1
電話番号 029-259-9295 / FAX番号 029-259-9296

提供サービス

- 特別養護老人ホーム 定員54名(ユニット型個室)
- 地域密着型特別養護老人ホーム 定員23名(従来型個室)
- 短期入所生活介護 定員30名
- 通所介護 定員40名
- 訪問介護 ○居宅介護支援サービス ○配食サービス

※同建物内に水戸市内原高齢者支援センターもございます。

『特別養護老人ホーム もみじ館』公式ホームページ
<https://hokuyoukai.jp/momiji/>



『特別養護老人ホーム もみじ館』公式Facebook

<https://www.facebook.com/momijikan1997/>

